

聴覚障害者に配慮した新型警光灯の導入について

1 概要

警察用車両に搭載された警光灯の発光パターンの違いにより、聴覚障害者が視覚で警察用車両の緊急走行時と通常の警ら時を判別できるよう、新たな発光パターンを追加した警光灯を導入するもの。

2 追加する発光パターンの特徴

1 度光った後に蛍の光のように徐々に発光（2 秒周期）。

3 新型警光灯の運用開始時期等

令和 6 年度中に、新型警光灯を搭載した小型パトカー（420 台）及び交通事故処理車（99 台）を各都道府県警察に順次配分し、運用を開始。

今後も新型警光灯を搭載した警察用車両の導入を予定。